



学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性、社会性が豊かな子どもの育成

# 吉田小通信

北九州市立吉田小学校  
校長 森田 健伸

吉田小の4つのこだわり

- 自分からあいさつ
- 時間を守る
- 全員でそうじ
- くつばこの整理

令和5年9月1日 発行 NO.5

## 生活のリズムを整え、充実した2学期にしましょう

長い夏休みも終わり、いよいよ2学期がスタートしました。8月28日(月)の2学期始業式は、全校児童が体育館に集合してみんなで元気に校歌を歌うことができました。

今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて初めての夏休み。人の往来が増えたためか、本誌でも新型コロナやインフルエンザの感染者も徐々に増えているとのニュースもあります。手洗いや手指消毒など、これからは基本的な感染予防対策を続けてもらいたいと思います。

また、全国的に猛暑が続き、熱中症が心配される天候が続きました。北海道では小学2年生女児が授業後に熱中症の症状で倒れ、なくなってしまうという痛ましい事故も起こっています。熱中症への対策として「十分な睡眠」と「朝ごはん」が重要だそうです。今後もまだまだ暑い日が続くようです。まだ体調が万全ではないお子様もいると思いますが、「早寝・早起き・朝ご飯」で生活のリズムをととのえて、元気に登校してほしいと思います。

できたら成功

### できなくても成長



北九州市立吉田小学校



©ていたん,北九州市

## 「チーム吉田小学校」として

子どもたちには、生活面や対人関係において、様々な指導・支援が必要です。吉田小においては、担任を主体としながらも、指導の内容などに応じて、生徒指導担当や養護教諭、担任外の先生方、管理職と様々な立場の先生がチームとなって子どもたちの指導・支援にあたっています。今後も多面的に子どもを見て、一人一人の子どもにとって、よりよい指導や支援となるように努めてまいります。お子様のことで、心配ごとや相談がありましたら遠慮なく学校へご連絡ください。



©ていたん&ブラックていたん,北九州市

## 歯の健康について

健康な歯でよく噛むことは、子どもの発育に重要な役割があり、むし歯予防は健全な発育への取り組みに必要なことです。ご家庭でもむし歯予防に向けてお子様への指導をされているところだと思いますが、改めて歯の健康の重要性と、歯みがきの仕方等について確認をしていただくと幸いです。

8月28日に Tetoru にて「むし歯予防のための『フッ化物洗口』の申し込みについて」をお知らせしています。内容をご確認の上、URL をクリックして希望の有無の回答をお願いいたします。【締め切り9月4日(月)】



©ていたん,北九州市

裏面もご覧ください。

# 防災について～シェイクアウト訓練～

今から100年前の1923年9月1日11時58分、相模湾北西部を震源とする震度6の大地震が発生しました。いわゆる関東大震災です。この大地震が原因で大火災と津波が発生し、10万人を超える方が亡くなったり、行方が分からなくなったりしたそうです。



©ていたん&ブラックていたん,北九州市

北九州市でも、9月1日の「防災の日」(1923年関東大震災の発生日)に、地震発生時における行動

## 8月 9月 行事予定

日	曜	行事内容
28	月	始業式
29	火	給食開始 発育・視力測定(6年)
30	水	発育・視力測定(5年)
31	木	シェイクアウト訓練 発育・視力測定(4年)
1	金	発育・視力測定(3年) 委員会活動
2	土	吉田川清掃(希望者)
4	月	発育・視力測定(2年)
5	火	発育・視力測定(1年) 吉田中学校区3校笑顔ミーティング
8	金	英語村体験(3～5年)
11	月	英語村体験(6年)
13	水	学習参観(5時間目)
15	金	クラブ活動
18	月	敬老の日
20	水	避難訓練(火災)
22	金	代表委員会
23	土	秋分の日
25	月	性の健康と権利に関する教育(5年)
26	火	性の健康と権利に関する教育(6年) 福祉体験学習(4-1)
27	水	福祉体験学習(4-2)
28	木	福祉体験学習(4-3)
29	金	クラブ活動
<b>10月の行事予定</b>		
3	(火)	フッ化物洗口練習(希望者)
6	(金)	委員会活動
9	(月)	スポーツの日
10	(火)	フッ化物洗口開始(希望者)
12	(木)	修学旅行説明会(6年)
13	(金)	こころの劇場(6年)・代表委員会
16	(月)	自然教室(5年)～17日(火)まで
18	(水)	到津の森公園体験学習(1年)
19	(木)	運動会練習開始

の在り方を身につけ、市職員全体の防災意識を高めるために、全市職員を対象としたシェイクアウト訓練を実施することになっています。学校においてもシェイクアウト訓練を行い、教職員や子どもたちの防災意識を高め、地震が起きた時の行動の在り方を学習することになっています。シェイクアウト訓練とは2008年、米国の防災関係者らの発案で始まった米国最大の地震に関する防災訓練のことです。日本では、2012年より行われています。

シェイクアウトのやり方は、「DROP!(まず低く!)」、「COVER!(頭を守り!)」、「HOLD ON!(動かない!)」の3つです。

### 1. DROP!(まず低く!)

- 地震の揺れに伴う転倒を防止し、その場から動かされないようにするため、姿勢を低くする。

### 2. COVER!(頭を守り!)

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。机など隠れる場所がない場合は、手や腕、カバンや本など、身近なもので頭を守る。

### 3. HOLD ON!(動かない!)

- 揺れている間に動くのは危険なので、揺れが収まるまで1分くらいその場に留まり、動かないようにする。

地震によるケガや死亡の原因の多くは、家屋の倒壊に巻き込まれたことや落下物に接触したことなど、揺れによって生じた事象が死傷の原因となっています。また、地震直後の行動を確認してみると、安全な場所へ避難するために移動してケガをした人が多いことが分かっています。こうしたことから、シェイクアウトでは、地震発生時における人的被害を最小限に抑えるためには、DROP!(まず低く!)、COVER!(頭を守り!)、HOLD ON!(動かない!)という3つの動作の徹底が大切だと考えられています。

